

2020年8月7日

2021年3月期 第1四半期 決算説明補足資料

センサで世界を測る、未来を拓く。

OHIZUMI

株式会社大泉製作所

1. 20年度第1四半期業績

COVID-19影響により売上は大幅減、期間利益はマイナス

- 主力事業の自動車用、空調用が顧客の生産調整等により減収
- 中国市場は回復、日本、北米は底打ちで回復の兆し
- 受注減により国内の一部とタイ工場で稼働調整を実施
- 受注の急減により、棚卸資産が一時的に増加

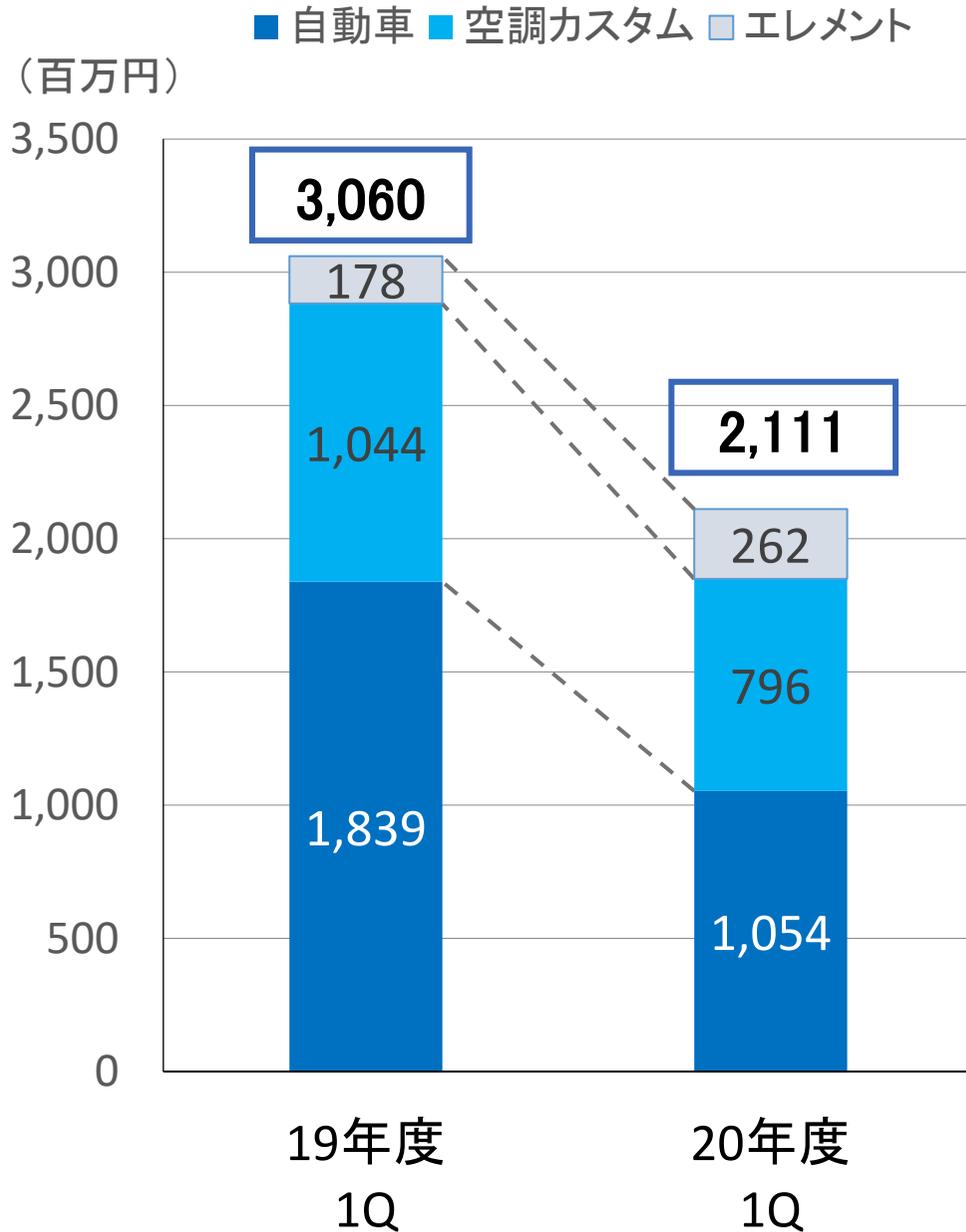
2. 通期業績予想

第2四半期以降の売上回復を見込むも、前期比減収、損失計上の予想

- 売上は第4四半期で前期水準に回復想定も、前期比△12.6%の減収
- 売上減少に伴い、営業損益以下の各段階損益は損失となる見通し
- 期末配当は未定

単位:百万円

	19年度第1四半期		20年度第1四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比
売上高	3,060	—	2,111	—	-31.0%
営業利益	208	6.8%	△57	-2.7%	—
経常利益	176	5.8%	△27	-1.3%	—
当期純利益	150	4.9%	△36	-1.7%	—



事業	前年同期比 (百万円)	増減率	増減コメント
全体	△949	-31.0%	●COVID-19影響による個人消費の減退や顧客の生産調整により減
エレメント	+ 84	+ 47.2%	●光通信用は5G向け需要増で好調 ●車載、家電用の既存品が減
空調カスタム	△248	-23.8%	【空調用】 ●COVID-19による顧客の生産調整や在庫調整により減少 ●中国市場は回復も、ASEAN販売が大幅減 【カスタム部品】 ●中国市場向けの工作機用が回復
自動車	△785	-42.7%	●既存品は、日本、欧米、ASEAN向けが大幅減 ●電動化領域は顧客の生産調整により微減

- 売上減少(約950百万円)により収益率が悪化
- 営業外収支は、国内工場の稼働調整に係る助成金収入(約35百万円)によりプラス

(単位:百万円)

	19年度		20年度		
	第1四半期	構成比	第1四半期	構成比	前年同期比
売上高	3,060	100.0%	2,111	100.0%	-31.0%
売上総利益	660	21.6%	368	17.5%	-44.2%
営業利益	208	6.8%	△57	-2.7%	—
営業外収支	△32	-1.0%	29	1.4%	—
うち、支払利息	△16	-0.5%	△8	-0.4%	—
うち、為替差損益	△2	-0.1%	1	0.1%	—
経常利益	176	5.8%	△27	-1.3%	—
法人税等	△26	-0.9%	△8	-0.4%	—
当期純利益	150	4.9%	△36	-1.7%	—

- 受注減により棚卸資産が一時的に増加
- 自己資本比率は23.3% (前期末比+0.6%)

◇資産の部

	20年3月	20年6月	増減
流動資産	6,510	6,111	△399
現金預金	2,054	1,758	△295
売上債権	2,070	1,715	△355
棚卸資産	2,244	2,523	+278
その他	141	114	△27
固定資産	2,931	2,913	△18
有形固定資産	2,628	2,599	△28
無形固定資産	125	128	+2
投資その他	178	185	+6
資産合計	9,442	9,025	△417

◇負債・純資産の部

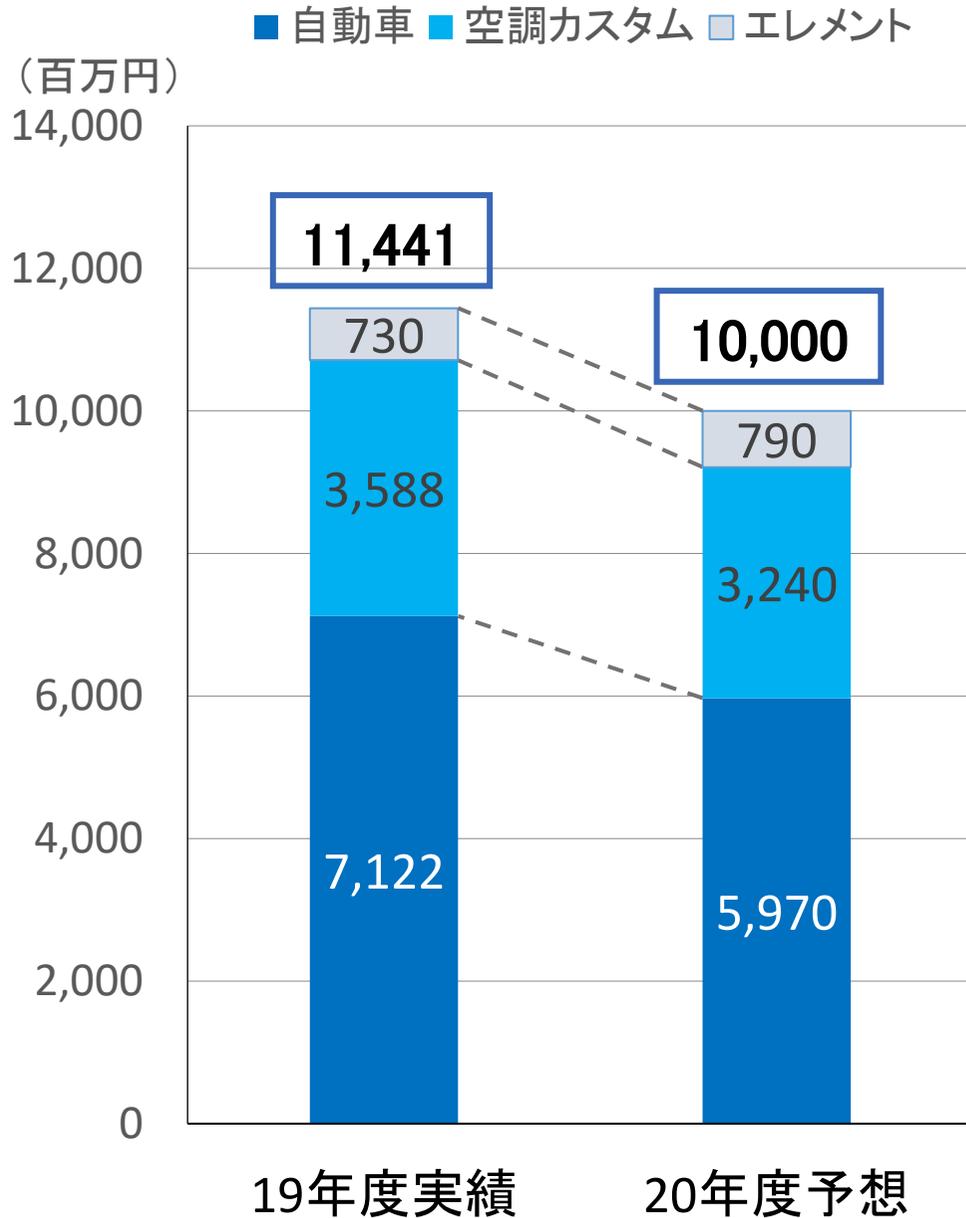
(単位:百万円)

	20年3月	20年6月	増減
流動負債	3,850	3,593	△256
仕入債務	1,156	1,076	△80
有利子負債	2,063	2,039	△24
その他	630	477	△152
固定負債	3,413	3,299	△114
有利子負債	2,650	2,564	△85
その他	763	734	△28
負債合計	7,264	6,892	△371
純資産合計	2,178	2,132	△46
株主資本	2,122	2,018	△103
その他	56	113	+57
負債・純資産合計	9,442	9,025	△417

単位：百万円

	19年度		20年度		
	実績	構成比	予想	構成比	前期比
売上高	11,441	—	10,000	—	-12.6%
営業利益	465	4.1%	△60	-0.6%	—
経常利益	393	3.4%	△40	-0.4%	—
当期純利益	220	1.9%	△80	-0.8%	—

※上記の業績予想には、現時点での入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれております。
 今後のCOVID-19感染拡大の収束状況等によって、業績見直しを変更する可能性があります。



事業	前期比 (百万円)	増減率	増減コメント
全体	△1,441	-12.6%	●COVID-19による影響は1Qで底打ち、4Qで前期水準に回復の見込み
エレメント	+ 60	+ 8.2%	●光通信用は米中関係悪化の影響により減速の見込み
空調 カスタム	△348	-9.7%	【空調】 ●中国向けは回復済み ●日本向けは4Qに向けた回復を想定 ●ASEAN向けは回復に時間を要す 【カスタム】 ●工作機用は好調が継続する見込み
自動車	△1,152	-16.2%	●電動化領域は前期立ち上げ製品の納入が本格化、前期比増見込み ●既存製品は2Qより回復基調、下期で前年同水準を想定

注意事項

この資料に掲載されている、株式会社大泉製作所の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。これらは、現在入手可能な情報から得ら
れた株式会社大泉製作所の経営者の判断に基づいており、内容の正確さについては細心の注意を
払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関しまして、当社は一切責任を負
うものではありませんのでご了承ください。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行
われるようお願いいたします。

センサで世界を測る、未来を拓く。

OHIZUMI

IR お問い合わせはホームページからお願いします。

<http://www.ohizumi-mfg.jp/contact/>